

福祉

かわぐち みつひろ 議員が問う

高齢者の見守り対策は 様々な資源を活用し充実を図る

質問を終えて

高齢化に備え、更なる高齢者向け福祉サービスの取り組みを充実させ、多くの方が、住み慣れた地域や自宅で暮らせるように期待します。

映像はこちら



川口 少子高齢化が急激に加速する中、一人暮らしの高齢者などを対象とした見守り活動は必要性が高く、重要なことである。

一番の力ギとなるのは民生委員の力ではないか。生活の安全網となり、安心を提供する役目を果たす必要な存在である。

民生委員の支援活動は増える一方、担い手不足が懸念されている。民生委員の活動状況について伺う。

福祉課長 地域の見守り、相談、必要な支援、専門機関とのつなぎ役となっている。

川口 緊急通報システム貸与事業や配食サービスに取り組みでいるが周知方法は。

福祉課長 広報や民生委員、各区長のほか、町のホームページでも、周知を行っている。

川口 今後を見据え、自治体によってはA-の技術やIoTを活用し、企業と自治体が

協力した見守り事業が進んでいる。

多岐にわたる活動に組み合わせ、体面、精神的負担を軽減するため、スマートスピーカーや緊急通報システムを広げるなど、必要になると考える。今後の高齢者を見守る対策について伺う。

福祉課長 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増えることも予想され、民生委員の負担が増すことは否めない。町として、支援協力はしっかり行っていく。今、元気な高齢者がいつまでも元気に過ごせるよう、介護予防の実施、シニアクラブ、シルバー人材センターなどへの活動支援を行う。

将来的には、スマートスピーカーなどを活用することでも想定されるが、現状は、様々な資源を活用し、高齢者の見守り対策の充実を図っていく。

町長 須恵町は、社会福祉協議会、シニアクラブなど団体が活動し、力を発揮している。元気なまちづくりに取り組



緊急通報システムの活用拡大を

み、そのことが、民生委員の仕事の軽減にも繋がり、その仕組み作りが役割だろうと思っている。須恵町で過ごしてよかったと思えるようなまちづくりが、原点回歸、解消になると思う。

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。

生活

たのうえ まこと 議員が問う

物価高騰への対応は 町民に喜んでもらえるような形で

質問を終えて

できることを精一杯、という答弁をいただいたと思っている。先の経済を考えると、慎重にならざるを得ない。相当難しい局面と思う。

映像はこちら



田ノ上 物価高騰に社会が揺らいでいる。

一度上がった物価が下がることは、余程のことがない限り困難と思われるが、須恵町でできることは何か考えている。民間事業者への補助として、検討している方策は。

総務課長 現在、民間事業者支援の補助事業については実施していない。

田ノ上 最近の施策では、町内で使える生活支援商品券は、大変人気のある政策だった。行政庁として、住民に対して、何らかの負担減の考えは。

総務課長 生活支援商品券は、大変好評いただき、町内経済の活性化にも大きく貢献したと認識している。生活支援の有効手段の一つとして、給付型の商品券やそれに準ずる施策の再実施は、前向きに検討を進めてまいりたい。

重点支援交付金の活用で、商工会実施のプレミアム付商品券を、より多くの町民が利用できるよう準備を進めてい

る。行政サービス料金の引き下げ、減免は実施困難な状況。低所得者層や子育て世帯への支援策の拡充を検討している。

町民への直接的な支援として、町内各小学校の給食費に対する補助を引き続き実施し、負担軽減を図る。保育所の給食費の補助についても計画している。

田ノ上 行政経費の見直しについて。遠方への出張などによる旅費は、条例により制約がある。物価高騰により、現状に合っていないのではと危惧する。

規定の改正により、職員の事務負担を軽減し、業務により専念できる環境を整えるべきと思う。旅費の規定について改正すべきでは。

総務課長 国家公務員においては改正されている。近隣市町の動向を見て、本町の旅費規程も国の基準に合わせ改正するべきか検討したい。

町長 質問の全般通して、経



済対策も一生懸命やっていく。町民の皆様喜んでもらえるような形で資金を使いたい。頑張って活動していく。

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。